

行政評価シート(事後評価)

コード 5-2-11	事務事業名 高齢者生きがい推進事業(高齢者大学事業)	所管部課 福祉部高齢者支援課
---------------	-------------------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	高齢期の生活を健全で明るく豊かなものにし、高齢者福祉の増進を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等	
	総合講座・バランス回復教室・高齢者に優しい料理教室・健康体操教室等の講座の参加を呼びかけ各会館で実施する。 なお、平成20年度から社会福祉協議会へ委託しており、これに伴い人件費相当分が増となっているが、社会福祉協議会補助金の減により相殺している。 合併時から行なわれている事業で、旧保谷と旧田無でも類似事業は行なわれていた。	
事業開始時期	合併時 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)		7,566	7,726	7,792	21,243
財源: 国庫支出金・都支出金	千円				
財源: 地方債					
財源: 内: その他( )					
財源: 認識: 一般財源		7,566	7,726	7,792	21,243
所要人員(B)	人	0.60	0.60	0.60	0.26
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,911	4,897	4,897	2,122
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	12,477	12,623	12,689	23,365
単位当たりコスト (E)=(D)/( ) 開講回数	千円	20	18	19	#DIV/0!

活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
開講回数	実績値 回	627	693	675	
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など) 平成18年度から健康体操教室増 平成19年度英会話からパッキングへの切り替え					
成果指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
一 次 延参加者数	目標値 人				
	実績値 人	18,512	22,941	24,957	
二 次 受講者満足度	目標値				
	実績値				
(指標の説明・数値変化の理由 など) アンケートを行っており、その結果は数値にしにくいところではあるが、回答を見ると利用者にはおおむね満足いただいているのではないかと思います。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	各講座で定数を設定しているが、希望の多い講座について定数増・機会増の要望が多い。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	講座内容に多少の違いはあるが各区市で同様の講座は開講している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	公民館事業との類似はあるが対象が高齢者に絞られることから介護予防等の観点から積極的に取り入れた事業展開が出来る。

コード 5-2-11	事務事業名 高齢者生きがい推進事業(高齢者大学事業)	所管部課 福祉部高齢者支援課
---------------	-------------------------------	-------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>意欲的な団塊世代の利用が今後増えることが予想される中、拡充の要請は強いが会場等の制約もあり形態について検討が必要である。</p> <p>高齢者大学については、総論的・入門的な講義内容で実施しているが、専門的な内容を学びたいという利用者も増えていることから、一つの内容で何回か講義を実施するといった専門課程(仮称)の開催等も検討していきたい。たとえば90分×3コマも取れば大学で習うような内容にも触れられると思う。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	3			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢者生きがい推進事業は、高齢期の生活を健康で明るく豊かなものにし、高齢者福祉の増進を図ることを目的とした事業である。</p> <p>福祉会館では、高齢者大学や健康体操教室など様々な生きがい推進事業が行われ、地域の高齢者の活動の場となっている。一方で、会場等の制約もあり、参加したいという利用者の希望等にそえない講座もある。</p> <p>今後は、利用者の要望等を踏まえ、利用しやすい講座となるよう事業内容や実施方法等の見直しを図るとともに、介護予防事業とのすみわけや利用者負担についても検討が必要である。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	1			
市民ニーズの把握	2			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢者の健康増進や明るく豊かな日常生活の実現に寄与する事業であり、今後高齢者の比率が一層高くなると見込まれることを考慮すると、継続して実施すべきものと考えられる。その際、利用者の要望等を踏まえ、満足度の高い事業となるよう、人気の高い講座等の集中的な実施や介護予防等の他の類似事業との整理など、事業内容や実施方法等の見直しを図るとともに、受益者負担の導入についても検討されたい。</p>